

# 宇宙学拠点・サマースクール 2016 の募集について

2016年6月30日

(2016年7月16日変更あり)

宇宙総合学研究ユニット

宇宙総合学研究ユニット・宇宙学拠点では、宇宙開発利用を担うグローバル人材の育成を目的として、セミナーとテーマ討論型グループワークからなる合宿形式のサマースクールを実施します。学問分野を超えた多角的な視点と、専門家からのアドバイスをもとに、宇宙を通じた幅広い分野の課題を討論し、個々の研究の付加価値の探索と、宇宙開発利用の現状と将来を議論します。宇宙学という京大発の新しい試みに参加する意欲のある人を求めます。奮ってご応募下さい。

## 開催概要

日時 2016年8月23日(火)・24日(水) 2日間  
会場 京大大学生存圏研究所信楽 MU 観測所 (滋賀県甲賀市信楽)  
内容 講師による講義、グループ討論 (プログラムは別紙参照)  
参加費 無料 (宿泊費・交通費を含む。一部は立替後、口座振込となります)

## 参加申込

対象 大学院生 (学部生が参加を希望する場合は、事前にご相談下さい)  
定員 20名 (参加申請書の審査により参加者を決定)  
応募方法 参加申請書に記入の上、件名を「サマースクール応募」として電子メールで送信  
応募先 [usss@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:usss@kwasan.kyoto-u.ac.jp)  
応募締切 2016年7月15日(金) 23:59=>7月25日(月) 23:59

## 応募の際の注意

参加申請書の内容を基に審査委員で審査し、その結果に基づいて採否を決定します。また、グループ分けや討論テーマの参考とします。参加申請書は、フォントサイズや行間に変更を加えても構いませんが、簡潔にわかりやすく書くよう心掛けて下さい。申請書に記入する個人情報は、サマースクール参加に必要な情報です。迅速な事務手続きのため必ずご記入下さい。個人情報は本サマースクール以外の用途には使用しません。

その他の詳細情報については、宇宙ユニットウェブサイトの詳細ページを確認の上、お問い合わせ下さい。

(<http://www.usss.kyoto-u.ac.jp/uchugaku/summer-school/index.html>)

## 問い合わせ・応募・書類提出先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 北部総合教育研究棟 403号室  
京都大学 宇宙総合学研究ユニット事務局  
Tel: 075-753-9665 E-mail: [usss@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:usss@kwasan.kyoto-u.ac.jp)

# 2016 年度 宇宙学・サマースクール参加申請書

平成 年 月 日

## 申請者

所属部局・研究科・専攻・学年 \_\_\_\_\_

氏名（フリガナ） \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_（学内内線番号） \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

現住所 \_\_\_\_\_

## 指導教員

所属部局・研究科・専攻・職名 \_\_\_\_\_

氏名（フリガナ） \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_（学内内線番号） \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

1. 自らの専門分野・研究内容を簡潔に記入して下さい。

2. 専門以外で興味を持つ分野または、宇宙に関連させたら面白そうだと考える分野を挙げて、その理由を簡潔に記入して下さい。

3. グループ討論テーマから興味のあるテーマを選び、課題点や議論したい内容について記入して下さい。

# 宇宙学拠点・サマースクール 2016 プログラム (案)

## MUレーダー基礎講義

橋口 浩之 (生存圏研究所 准教授)

## 系外惑星データベース紹介

山敷 庸亮 (総合生存学館 教授)

## 招待講師講演

1) 栗田 光樹夫 (理学研究科 准教授)

「月に望遠鏡を立てるとしたら」

2) 大庭 弘継 (文学研究科 研究員)、磯部 洋明 (総合生存学館 准教授)、呉羽 真 (宇宙総合学研究ユニット 特定研究員)

「ファーストコンタクトを思考実験する」

3) 土井 隆雄 (宇宙総合学研究ユニット 特定教授)、宮本 剛 (三菱重工)、森野 智子 (三菱重工)

「有人宇宙活動について」

4) 中野 不二男 (宇宙総合学研究ユニット 特任教授)

「デュアル・ユースという考え方」

## グループ討論テーマ

A) 有人宇宙活動

(例) 有人宇宙活動の目的は何か

(例) 有人宇宙活動に必要な学問分野は何か

(例) 宇宙ステーション後の日本の有人宇宙ミッションは何か

B) 月面の利用方法

(例) 月面基地、月面望遠鏡

C) ファーストコンタクト

(例) ET の信号をキャッチした場合の学問的・社会的衝撃

(例) 起こらないかもしれないコンタクトについて考えることの意義

## 宇宙学サマースクール 2016 タイムテーブル (案)

8月23日 (火)			
時刻	配分	内容	担当者
8:45		集合 (北部総合教育研究棟前)	
9:00-10:30	90分	バス移動 (吉田キャンパス→信楽 MU 観測所)	
		信楽高原鉄道信楽駅到着時刻 (09:38/10:48)	
10:30-11:00	30分	はじめに、参加者自己紹介	
11:00-12:00	60分	MUレーダー基礎講義、施設見学	講演：橋口浩之氏
12:00-13:00	60分	昼食 (弁当)	
13:00-13:45	45分	招待講師講演 1	講演：栗田光樹夫氏
13:45-14:30	45分	招待講師講演 2	講演：大庭弘継氏 他
14:30-14:45	15分	休憩	
14:45-15:30	45分	招待講師講演 3	講演：土井隆雄氏 他
15:30-18:00	150分	グループ討論	
18:00-18:15	15分	系外惑星データベース紹介	講演：山敷庸亮 氏
18:15-20:15	120分	夕食 (中庭でバーベキュー)	
20:15-22:45	150分	自由討論 (自由参加)、観望会	

8月24日 (水)			
時刻	配分	内容	担当
9:00-09:45	45分	朝食	
9:45-10:30	45分	招待講師講演 4	講演：中野不二男氏
10:30-12:00	90分	グループ討論	
12:00-13:00	60分	昼食 (弁当)	
13:00-14:00	60分	グループ討論・発表準備	
14:00-15:00	60分	グループ A 発表 + 議論 1	
15:00-15:15	15分	休憩	
15:15-16:15	60分	グループ B 発表 + 議論 2	
16:15-17:15	60分	グループ C 発表 + 議論 3	
17:15-17:30	15分	総評	
17:30-19:00	90分	バス移動 (信楽 MU 観測所→吉田キャンパス)	
		信楽高原鉄道信楽駅発車時刻 (18:30)	
19:00		解散	